

魅力ある県立学校づくり推進事業(読書活動)

～4Skills[読む・書く・聞く・話す]をみがく～

○金刀比羅神社(金石西2丁目)で、紙芝居の実演を見学しました。

8月6日 午後3時～4時 場所：金刀比羅神社



先日「大野湊神社縁起」を語ってくださった鏑木紀彦先生のお宅に隣接する金刀比羅神社で、8月6日の土曜日に、山本良子先生をはじめとする「かなざわ夢紙芝居」というサークルの方々が実演なさる紙芝居を見学させていただきました。

最初の作品は、約390年前に金刀比羅神社の宮司を務めた秀船坊と白狐のお話「きつねのゴロガイ」でした。秀船坊が旅の途中で傘と交換した「ゴロガイ」という狐の持つ宝物を、神社の天窓から狐が盗みにくる、というあらすじのお話でしたが、山本先生の感情があふれ抑揚がたっぷりの豊かな表現がとても印象的でした。



紙芝居による「なぞなぞ いしかわ検定」や昔の貴重な紙芝居の表紙の紹介に続いて、年配の人にとっては懐かしい「黄金バット」、最後に、^{みやのこし}宮腰(金石)で20年以上も長生きした猫「仁三」と飼い主の「作太郎」の心温まるお話「^{ろうびょうにぞう}老猫仁三」の実演を見学しました。

宮腰と呼ばれた昔の金石のお話と、歴史のある金刀比羅神社の雰囲気がピッタリで、紙芝居の世界が生き生きと目の前に現れてくるようでした。また、自分たちが紙芝居を上演するときの参考にもなり、貴重な体験が出来たと思います。

ありがとうございました。



(記録：図書課)